

7月28日に夏休みこども村を開催しました！

JA東京みなみでは、食農教育事業の一環として小学校3年生～6年生を対象に『夏休みこども村』を開催しています。

農業を体験し、地域農業を身近に感じてもらうため、管内の農家を巡る日帰りツアーに出発！
楽しかった思い出をまとめました。

【ナスの収穫(礒川様圃場:稲城市)】

礒川さんから「大きいナスを採ってね！」と声をかけてもらい、1人3個ナスを収穫しました。
「どのナスが大きいかな?」「これは大きいよ!」と、こどもたちは競い合って大きいナスを探しました。



【ブルーベリー収穫体験(新倉農園:多摩市)】

新倉さんからブルーベリーの摘み取り方を教えてもらい、1人1パック収穫しました。
最初は1粒ずつゆっくり摘み取っていましたが、段々とコツを掴み、大粒のブルーベリーをパックいっぱい
に摘み取ることができました。



【昼食(日野支店)】

地場産の野菜をたっぷり使ったカレーライスとサラダを食べました。
「カレーは、甘口と辛口どっちにしようかな?」「サラダのドレッシングはどれにしようかな?」と自分で選んで、おかわりもして、お腹いっぱい食べました。



【エコバッグ作り(日野支店)】

新聞紙でエコバックを作りました。

作ったエコバックに収穫したナスやブルーベリーなどを入れて、持ち帰りました。



【「ちゃぐりん」を使った学習(日野支店)】

JA職員が先生となり、こども用雑誌「ちゃぐりん」を使い、日本の食と農について学びました。



【タマゴ詰め体験(日野支店)】

日野市内の養鶏場で採れた新鮮なタマゴを、タマゴパックに詰めました。

紙のタマゴパックにマーカーペンで好きな絵を描いたり色を塗ったりして、オリジナルのタマゴパックを作りました。



【スイカ割り(日野支店)】

スイカに紙風船をつけて行いました。紙風船を割ると歓声が上がり、盛り上がりました！

スイカは、野菜の収穫体験後、みんなで食べました。



【野菜の収穫体験(JA農園:日野市)】

JA職員が丹精込めて育てた中玉トマトとピーマンを収穫しました。

暑い中でしたが、収穫ばさみを使った収穫にこどもたちは夢中になっていました。



【野菜の袋詰め体験(日野支店)】

農家さんが野菜を出荷する際、野菜を入れたビニール袋を止める「バックシーラー」を使い、JA農園で収穫した中玉トマトとピーマンの袋詰めをしました。



【閉村式(日野支店)】

収穫したナスやブルーベリー、タマゴや東京みなみPB商品「稲城の梨・高尾ぶどう・多摩市のゆずサクマドロップス」などを作ったエコバックに詰めて、お土産にしました。

暑い中、お疲れ様でした！



夏休みこども村でこどもたちは、自然や農業にふれあい、貴重な体験をすることができました。

新しい仲間もできて、楽しい夏休みの思い出となりました。

ご協力いただきました農家組合員の皆様、ありがとうございました。